



組立て・取扱説明書

LOGOS グレートたき火グリル No.81064090

この度は、本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この説明書をよく読んで正しく組み立ててください。
また、事故やけが、器具の破損などを防ぎ、安全に正しくご使用
いただくために、注意事項は必ずお守りください。この取扱説明書は、
大切に保管してください。

■ ご使用前に

- ① パーツ類の破損、溶接外れなどがないか確認する。
(破損が見つかった場合は使用しないでください)
- ② 革手袋などを着用する。
- ③ 消火用の水をバケツなどに入れておく。
※ 火力が強すぎると、熱により変形・変色する場合がありますので、ご了承ください。

使用上の注意

● 事故やけが、器具の損傷を防ぐため、次の事項を必ず守ってください。



警告

火災のおそれあり

- ジェル状着火剤を使用する場合は、ジェルがスタンドに落ちないようにする。
(スタンドに落ちると、異常燃焼のおそれ)
- 着火剤や燃料の代わりにガソリン、灯油、ガス、アルコールなどを使用しない。
- 本体真下が高温になったり、開口部から周囲に炭などがこぼれ落ちることがあるため、熱の影響を受けても問題のない地面に設置する。
- 屋内やテント内、タープの下では使用しない。
- 強風・雨天時は使用しない。
- 残り火の始末や灰の処理、撤収は、完全に燃え尽きて、本体が冷えたことを確認してから行う。
- 燃料を入れすぎない。(炎が高く上がったり、本体の変形・変色のおそれ)
- 側面プレートの開口部から、薪がはみ出ないようにする。
- 起伏や傾斜がない所に設置し、必ず安定した状態で使用する。
- スタンドは必ず使用する。

やけど、けがのおそれあり

- 着火後は、本体を移動させない。また、素手では絶対に触らない。
- 着火後は、顔などを近づけない。また、燃えやすい物の周りで使用しない。
(炭がはぜたり火の粉などが飛ぶおそれ)
- お子様やペットを本体の周りで遊ばせない。
- お子様には、本体の組み立てや撤収をさせない。
- 組み立て・撤収、着火・消火、調理、お手入れなどの際は、革手袋などを着用し、やけどや鋭利な部分でのけがなどに注意する。
- 鍋や焼網などの調理器具を使用する場合は、ゴトクや固定バーの上に確実に載せ、安定していることを確認する。
- 本体に水をかけて消火しない。
(急激な温度変化による破損のおそれ、また高温の水蒸気が発生し、やけどのおそれ)
- 鋭利な部分があるため、洗浄時はゴム手袋などを着用する。
- ゴトクや固定バーに、合計10kg以上の物を載せない。

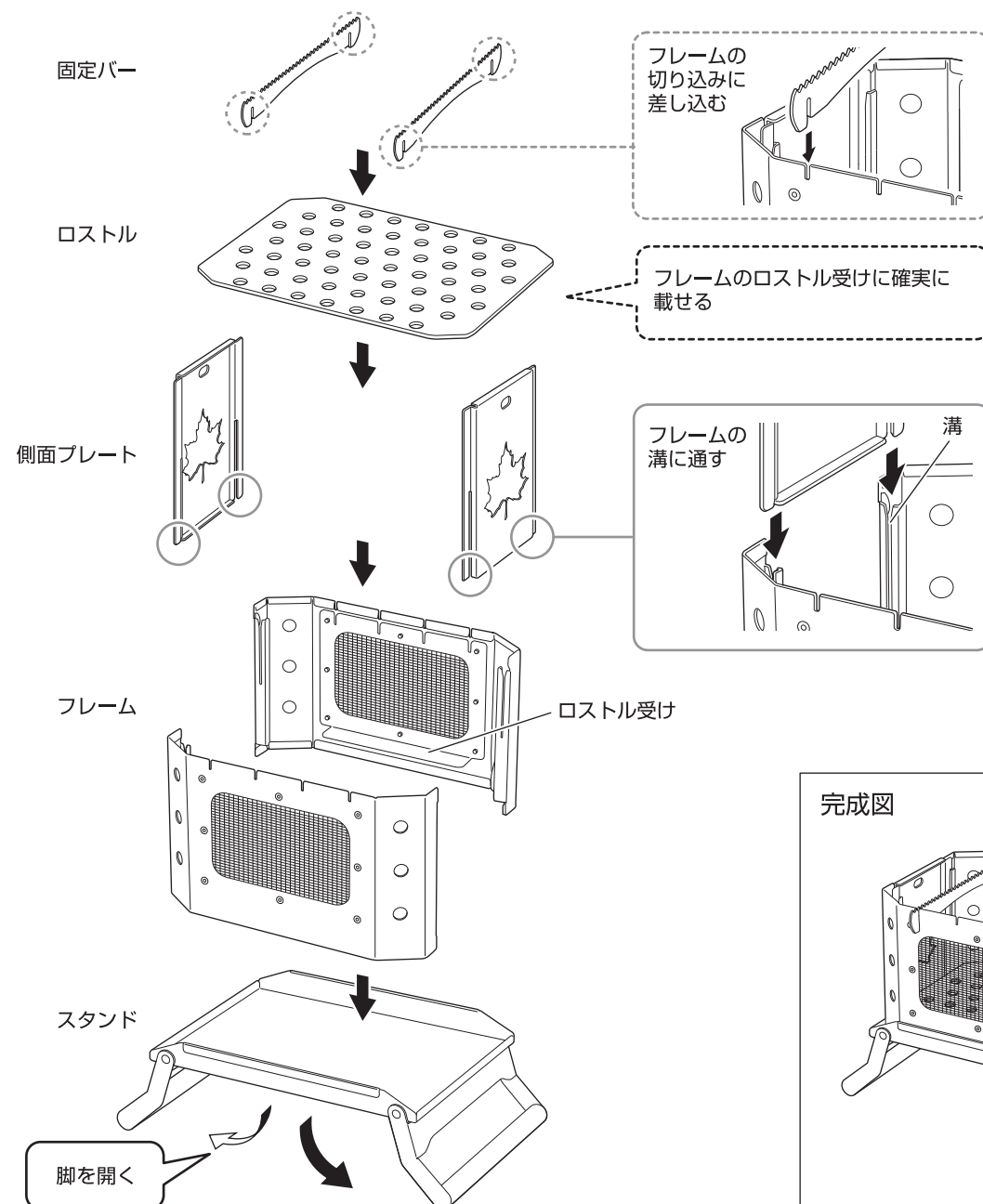
組み立て方法 図にしたがって、下から順に組み立ててください。



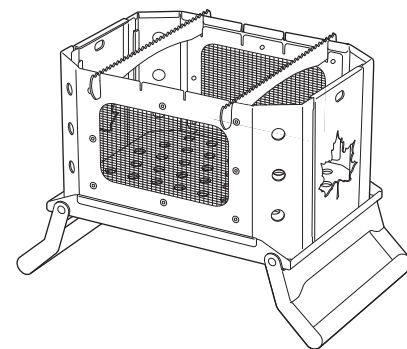
注意



- 組み立て・撤収、着火・消火、調理、お手入れなどの際は、必ず革手袋を着用する。
(やけど、鋭利な部分でけがのおそれ)
- 洗浄時は、ゴム手袋などを着用する。



完成図



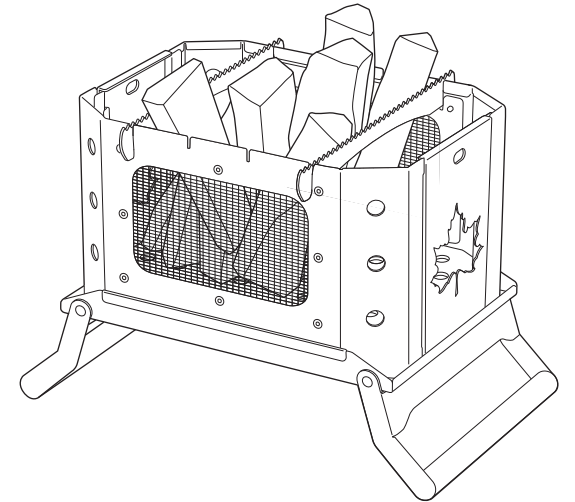
たき火を楽しむ！

- 固定バーに薪を立てかけることで、より効率よく薪を燃やすことができます。



注意

- 必ず固定バーを取り付けた状態で使用する。
(パーツが熱によって歪んだり、重みや衝撃などで倒れるおそれ)



燃料について

■ 市販の薪を使用する

- ① 焚き付けを置く
・ ロストルの中心に、枯葉や小枝などの燃えやすい物を置く。
- ② 細い薪→大きい薪の順に積み上げる
・ たき火として使用する場合は、空気の通り道を作りながら、円錐形に組む。
・ たき火調理の場合は、側面プレートの開口部から薪がはみ出ないように押し込む。(はみ出すほど大きい薪や枝は、あらかじめカットしておく)
- ③ 着火する
・ 柄の長いライターなどで着火剤に着火する。
・ 着火後しばらくは、なるべく薪を動かさずに様子を見る。



警告

- 側面プレートの開口部から、薪がはみ出ないようにする。
(火災、やけどのおそれ)
- 固定バーの上に薪を載せない。

続きは裏面を見てください。

- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。
- 本製品は熱により変形や変色、表面の剥がれなどが発生します。ご了承ください。

Designed by LOGOS CORPORATION

発売元: 株式会社 ロゴスコーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13

お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

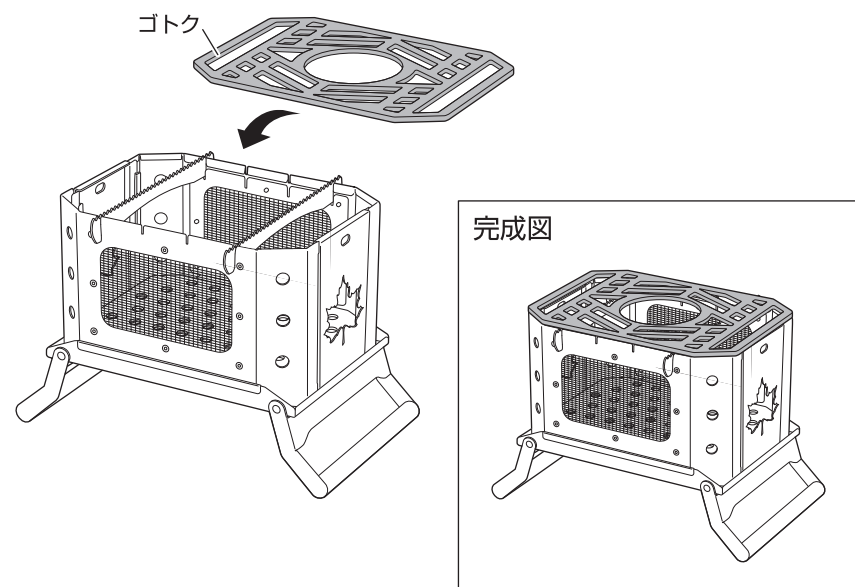
■ ホームページ / www.logos.ne.jp ■ 全国キャンプ場の空き情報 / www.campjo.com

2021/03 HT

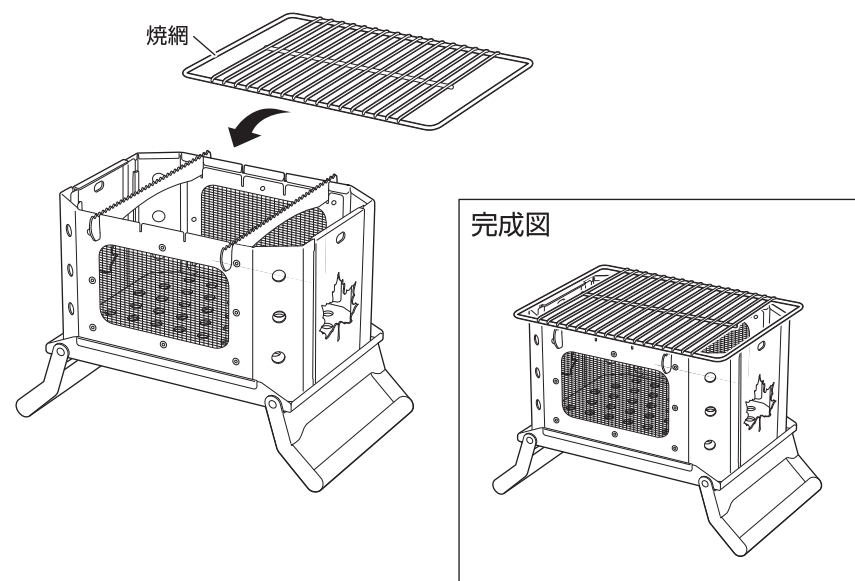


- ゴトクおよび焼網は、必ず固定バーを取り付けた状態で使用する。
(パーツが熱によって歪んだり、重みや衝撃などで倒れるおそれ)

ゴトクを使用する



焼網を使用する



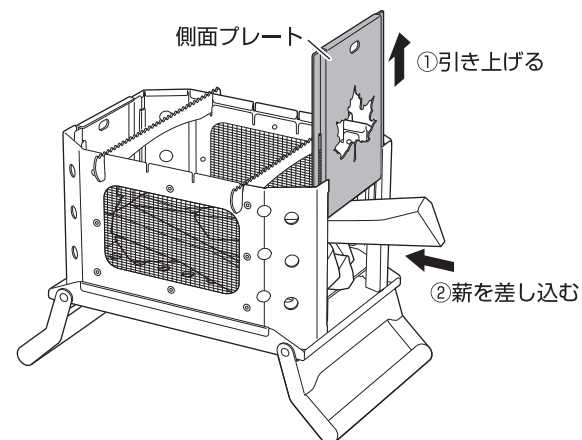
※ゴトクや焼網は固定されません。
重い物を載せるときや、薪の追加などでずらすときは、誤って落下させないようにご注意ください。
※焼網には、食材以外の物を載せないでください。

Point

- 調理中、側面パーツを引き上げることで、横から薪を追加できます。
- 必ず耐熱性の革手袋を着用し、側面パーツは薪ばさみや火ばさみで引き上げてください。

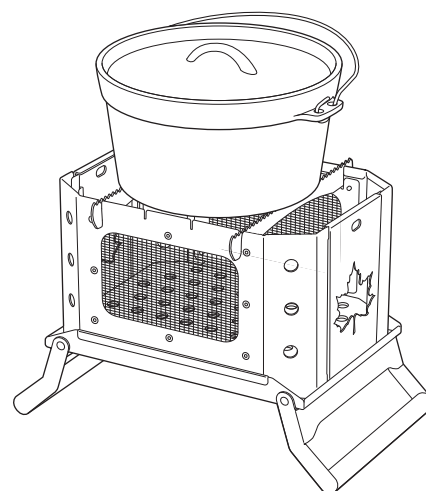


- 側面プレートの開口部から、薪がはみ出ないようにする。
(火災、やけどのおそれ)

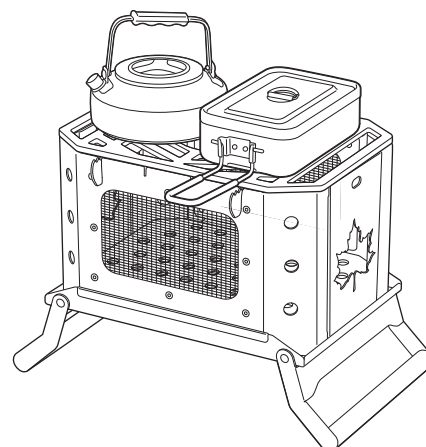


たき火料理を楽しむ！

- 固定バーの上に直接、調理器具を載せることができます。
- 調理器具の底面の大きさに応じて、固定バーの位置を調整してください。



- 小型の調理器具は、ゴトクの上で載せてご使用ください。
- ゴトクに直接食材を置かないでください。(焼網ではありません)

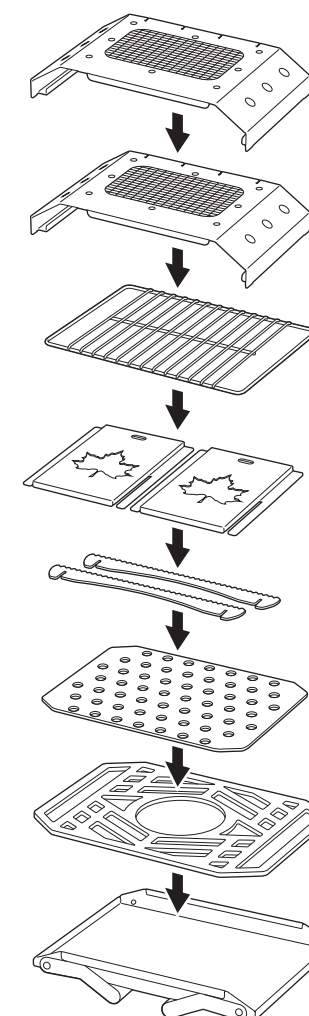


収納のPoint



- 撤収の際は、必ず革手袋を着用する。
(鋭利な部分でけがのおそれ)

①パーツを図の順に重ねる



②バッグに収納し、ベルトで留める

